

## 患者の集いモミの木認定再生委員会議事録概要

- 開催日時 令和6年2月20日(水) 19:00~19:45  
開催場所 : 一般社団法人モミの木会議室 リモートによるZOOM併用  
会議事項 (1) 出欠確認  
(2) 議長の選任  
(3) 資料確認  
(4) 審査  
(5) その他

### 認定再生医療等委員会の所在地及び名称

所在地 : 東京都渋谷区恵比寿二丁目28番10号  
名称 : 患者の集いモミの木再生医療等委員会

### 出欠席委員名

(出席委員)

委員	後藤 重則	男	医学・医療 (a-1)	瀬田クリニック東京医院長 日本免疫治療学会理事	利害無
委員	大野 美樹	女	医学・医療 (a-2)	(株)laVita 代表取締役 医学博士	利害無
委員	石渡 敏暁	男	法律・生命倫理(b)	弁護士 一般社団法人細胞免疫学 研究会認定再生医療等委員会委員	利害無
委員	豊田 厚子	女	一般 (c)	(株)ブライテスト代表取締役	利害無
委員長	梶 伸子	女	一般 (c)	一般社団法人モミの木理事長	利害無
委員	平林 茂	男	一般 (c)	バイオアクセル(株)代表取締役、 サイエンスライター	利害有

(欠席委員)

委員	中村 素行	男	医学・医療 (a-2)	なかむら消化器クリニック医院長 医師	利害無
委員	萬 憲彰	男	医学・医療 (a-1)	医療法人医新会よろずクリニック理 事長 医師	利害有
委員	古荘 純一	男	医学・医療 (a-2)	昭和病院小児科医長、青山大学教 育人間科学部教授	利害無
委員	佐藤 毅	男	法律・生命倫理 (b)	司法書士	利害無

### 技術専門員名

再生医療	中村 素行	男		元ハーバード大学ダナフィーバー 研究所所属腫瘍免疫学 医師	利害無
培養加工	大崎 真	男		日本再生医療学会臨床培養士	利害無

## 会議事項：

- (1)出席確認 委員会規定第5条により委員会の成立を確認した。
- (2)議長の選任 委員会規定第4条により、委員長が議長に選任された。
- (3)資料確認 事務局より配布された資料の確認を行った。
- (4)審査↓

## 審議概要：

再生医療等提出計画書の変更審査

議長 梶伸子は、参加委員の出欠を確認し、規定にのっとり、本委員会は条件が満たされたと判断し、19時00に本委員会の開催を宣言し審議にはいった。

## 第1号議案

第3種再生医療等提供計画を提出した医療機関の担当医師の変更

医療法人社団桜伸会さくらクリニック

管理者 吉田 治

において、全担当医師の澤田 威生が退任し、新たに堀 和弘医師が、再生医療担当医師として治療にあたることとなった。澤田 威生医師の退任と堀和弘医師が、下記再生医療の担当医としてふさわしいかを当委員会ではかることとなった。

変更申請を受け取った日 令和6年1月31日

2-①  $\alpha\beta$ T細胞療法に対する医師の変更による審査

2-② NK細胞療法に対する医師の変更による審査

2-③ 樹状細胞(DC)療法に対する医師の変更による審査

以上、3件の審査について、堀 和弘医師が適任かどうかを当委員会で審議した。

上記議案、澤田医師の退任と堀井氏の適任にたいして、議決に参加した委員全員一致で適任であると判断され可決した。

委員平林は、本審査において利害関係人の位置にあるので、今回の議決には参加しなかった。

委員長は、審議が尽くされたと判断し、委員会は、同日19:45分に閉会を宣言した。

## 委員会での意見

委員長の梶伸子から、委員全員に対して堀氏の経験に関する、意見を求めたところ、大野委員(薬剤師、医学博士)より、「再生医療を行うにあたっての医師の条件はあるか」の問いが出された。これに対して、後藤委員(医師)より、「3種の再生医療をおこなうにあたり、最低限の医師の経験はがん治療に携わった経験があるかないかだと考える。この点、堀氏は、経験があり、更に2種の再生医療の経験もある」ことから、当該医師が再生医療を行うことは問題ないと考え、との発言があった。また石渡委員(法律家)より、2-①  $\alpha\beta$ T細胞療法に対する医師の変更による審査

2-② NK 細胞療法に対する医師の変更による審査

2-③ 樹状細胞（DC）療法に対する医師の変更による審査

は、「すでに受理され医療とし実施されており、その内容に関しては特段変更がないことから、これについては問題ないと考えられ、審議するべきは堀医師が適任かどうか絞られると判断される」との意見があった。また、吉田院長の元で9月から研修をつまれていることから技術的にも問題はないと判断できるとの発言も後藤委員からあった。

以上を踏まえ、実施責任者 堀 和弘医師は、提出された資料及び、聞き取り調査の上、2種を含む再生医療の経験もあり、院内の医療体制にも問題はないということに全員が合意した。

---